



「こころ」が支配される「暴力」って、なんですか？

デートDVとは

DV(ドメスティック・バイオレンス)は、配偶者や恋人など親密な関係にある(あった)者から振るわれる暴力のことですが、特に 10 代や 20 代の恋人間で起きている DV を「デートDV」と呼んでいます。

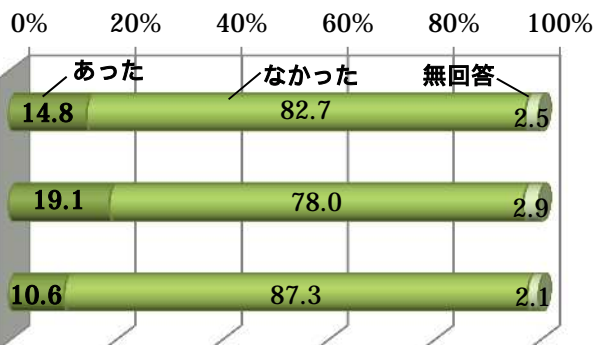
身体への暴力だけでなく、相手を束縛したり、支配しようとしたりすることも「こころ」への「暴力」です。

総数 (1,847人)

女性 (904人)

男性 (943人)

交際相手からの暴力 被害経験の有無



内閣府「男女間における暴力に関する調査」(平成 26 年調査より)

女性の 5 人に 1 人がデートDVの被害を受けている。男性が被害者になることも...



なぜ暴力を振るわれても離れられないのでしょうか

相手のことをわかってあげられるのは自分だけだから
相手の暴力が怖くて別れるなんて言えなかった
相手が嫉妬するのは、それだけ自分のことを愛しているからだと思った
友だちみんなが相手のことをステキな恋人だと言っていた。だから何も問題がないようにふるまった
暴力を振るったあとで相手は泣いて謝り、もう決してしないと誓ったから

知り合いや友だちが交際相手との関係で困っていたら、声をかけて話を聞いてみてください。

あなたのひとことが支えになるかもしれません。自分を責めたり、ひとりで解決しようとしたりせず、相談できる窓口があることを教えてあげてください。

主な相談窓口(相談は無料)

ねりま DV 専用ダイヤル 03-5393-3434

毎日(休館日を除く)9時~19時(祝日は17時まで)

練馬区立男女共同参画センターえーる 相談室

03-3996-9050

毎日(休館日を除く)9時~19時(祝日は17時まで)

東京ウィメンズプラザ 03-5467-2455

毎日(年末年始を除く)9時~21時まで

殴る、蹴る、たたく

携帯電話の着信履歴やメールをチェックする

思いどおりにならないと、怒鳴ったり責めたりする

これらはすべて「暴力」です

いつもおごらせる
貸したお金を返さない

「ばか」「死ね」「きもい」
など傷つける言葉を使う

無理やり性的な行為をする

誰もがデートDVの被害者になる可能性があります。デートDVは、エスカレートするとストーカー行為や暴行・傷害につながるおそれもあります。

相手を怖いと思ったことがあるなら、2人の関係を見直してみましょう。お互いを尊重しながら対等な関係を築くために。



働きたいママの 就活マニュアル

毛利優子著
自由国民社 2015

女性は「結婚」「出産」「育児」とライフイベントがキャリアに大きく影響する。時間・場所・プランク・年齢などの制約があっても諦めずに選択肢を広げていけば、好きな仕事を手に入れる方法はある。小さな一歩から新しいキャリアが始まる。



暴力は絶対だめ！

アストリッド・リンドグリーン著
岩波書店 2015

「長くつ下のピippi」の作者リンドグリーンによるドイツ書店協会平和賞の受賞スピーチ。理不尽な扱いを受けた経験を糧として、作品を創り、発言する勇気を持ち、風刺とユーモアにあふれた言葉で社会問題を語り、人々を魅了し続けた彼女の深い思いが込められている。「暴力は絶対だめ！」

新着図書紹介



親子共依存

尾木直樹著
ポプラ社 2015

親と子それぞれの人間の成長において、大事なことはなんだろうか。「親への依存」から脱出して、子どもが「自立」すること。子どもが自立するためには、親側こそが子どもに依存しないで自立すること。今私たちに求められているのは子どもたちに対し深い信頼を寄せる勇気を持つことだけである。



40男 はなぜ嫌われるか

田中俊之著
イースト・プレス 2015

40男は、「昭和的男らしさ」と「平成的男らしさ」の狭間を生活している。若い世代のようにさらりと家事・育児をこなせない。「働いてさえいればいい」と開き直ることもできない。本書の目的は、リアリティと現実のずれを矯正し、40男が実りある人生を歩むための視点を提供すること。



老妻だって介護はつらいよ

沖藤典子著
岩波書店 2015

介護問題を追いかけてきた著者自身に、突然夫の看護と介護の日々がやってきた。入院生活から在宅介護へと踏み出し、日々何を感じ、どんな壁に直面し、何に励まされたか。夫の介護のつらさを訴えられない多くの老妻の代弁として、著者ならではの目線で「老妻おひとり介護」の現実を描いた体験記。

テーマで読む1冊

それ、恋愛じゃなくて
DVです
瀧田信之著

「オレ以外の男と口をきくな」
「友だちとオレと、どっちが大事なんだよ！」
恋人からこんな言葉を投げつけられて落ち込んだりしたことはありませんか？恋愛という親密な関係の裏側には「見えない暴力」が潜んでいることが多いのです。「自分は絶対DVになんかあわない」と過信するのは禁物。(WAVE出版 2009)





時代を拓いた女たち

たま
ラグーザ・玉

『人生の事はその場で自分の思うようにならないからとて
ちっとも悩んだり、あせったりするには及びません』

文久元年(1861年)～昭和14年(1939年)

日本初の女性洋画家となるラグーザ・玉は、150年以上前の文久元年、芝増上寺の差配(管理人)清原定吉の次女として生まれる。幼い時から絵が好きで、10歳より小林栄洲に日本画を学ぶ。明治9年16歳の時、明治政府から工部美術学校の教師として招聘されていたイタリアの彫塑家ヴィンツェンツォ・ラグーザが生家の管理する花園を訪れた。日本画を学んでいた玉は薄墨で描いていたが、ラグーザは西洋画の画法で人物を描いて見せた。ラグーザは玉の画才に着目し実物写生をすすめ、西洋紙や鉛筆をも与え玉を指導するようになる。またラグーザの塑像「清原玉像」のモデルも務め、さらにラグーザの助手も務めるようになり、伊藤博文の胸像をつくる際には通訳として同行した。

20歳の年ののはなれた二人は子弟としてさらに固い絆で結ばれ、明治15年21歳、ラグーザの帰国に姉の千代夫婦と一緒にイタリアに渡る。パレルモ大学美術専攻科に入学し、女性初のイタリア留学生となる。明治17年ラグーザが工芸美術学校を創設し、姉夫婦と共に教師となり、後に玉は副校長となる。姉夫婦の帰国後の明治21年、ラグーザと結婚しエレオノーラと改名。玉は女流洋画家エレオノー

ラ・ラグーザとして世に知られるようになっていった。明治43年ニューヨーク国際美術展覧会にイタリア女流画家として出品し、婦人部最高賞を受賞。イタリアで名声を博しても、日本人女流洋画家第一号の活躍は、日本では一切紹介されなかった。

ラグーザが亡くなるまでの40年以上を幸せに暮らし、国際結婚をして異国に暮らす妻を持つ男性には「家に閉じ込めてはいけません。社交的な場に連れ出して気を晴らしてあげなさい」とアドバイスしたという。昭和元年最愛の夫を失った玉は、帰国のため日本大使館に行くど「イタリア人と結婚した汝は日本人にあらず」と冷たくあしらわれ、怒りと絶望で日本語を忘れてしまうほど心に傷をおった。その後日本で玉を主人公にした木村毅の小説「ラグーザお玉」が、新聞に連載されその名が知れ渡った。

昭和8年72歳、イタリアと一緒に渡った姉千代の孫に伴われ、50年ぶりに帰国した。油絵の展覧会が開かれたり、長谷川時雨に招かれたりと温かく迎え入れられた。昭和14年78歳で亡くなるまで玉は絵筆を離さなかったという。文化習慣の違う異国の地で、洋画家として花を咲かせたのは、天賦の才能と強い決断力があつたからであった。

参考資料:「女のきつぷ」「先駆者たちの肖像」ほか

芸術による女性の自立

明治33年、女性に様々な制約があつた時代、横井玉子や藤田文蔵等が発起人となり、「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」を建学の精神として、女子美術学校(現・女子美術大学)が設立された。

21歳で寡婦となった玉子は、洋裁や洋画を習得し伯母・矢島楯子の紹介で女学校で教鞭をとるなか、女性の教育者を養成する必要性を痛感していた。初代校長の藤田は工部美術学校でラグーザに師事し、東京美術学校(現・東京芸術大学)の彫刻の教授であつた。美術というだけでも特殊とされた時代、女性だけの学校に世間は冷やかかたで入学生も少なく、資金不足という厳しい現実に直面し、廃校の危機に陥つた。そこに救いの手を差し伸べたのは、玉子の死後校長となる順天堂病院長夫人である佐藤志津で、資力と社会的地位で危機を救った。玉子の理念を受け継ぎ「自分の着物を脱いで学校に着せた」と形容されるほどに助力を惜しまず支え、今日の礎を築いた。ノーベル賞受賞者・大村智は名誉理事長である。



参考資料:「女性画家の全貌。」「二つの星」ほか

にゅーすBOX

女性活躍推進法 成立

女性活躍推進法が成立した。従業員 301 人以上の大企業と国、地方公共団体に対し平成 28 年 4 月 1 日までに、女性登用の取組み内容を盛り込んだ行動計画の策定、公表を義務づけた。300 人以下の企業は努力義務。行動計画に書かれた取組み内容を実行しない場合や目標を達成できない場合でも罰則はない。

労働力人口の減少が想定される中で、女性の社会進出は不可欠だが、企業における女性管理職比率は、欧米の 30~40% 台に対し日本は 11% にとどまっている。

女性管理職 7.8%

日本経済新聞社が全国の都道府県を対象に調査した平成 27 年度の女性管理職（課長相当職以上）の割合は、全国平均で 7.8% と前年度より 0.6 ポイント上昇した。最も高かったのは東京都の 15.1%、次は鳥取県の 12.9%。

80 歳以上はじめて 1 千万人超える

総務省の発表によると、9 月 15 日時点で 65 歳以上の人口は過去最多の 3384 万人。80 歳以上は 1002 万人で、はじめて 1 千万人を超えた。65 歳以上の就業者数は 11 年連続で増加。65~69 歳では男性の 50.5%、女性の 30.5% が就業していた。また、国立社会保障・人口問題研究所の平成 26 年の世帯動態調査によると、子どもが 65 歳以上の高齢者親子の同居率が増加しているという。兄弟の数が少なく、介護などが要因ではと分析している。

女性議員半数セクハラ被害

地方議会の女性議員らでつくる「全国フェミニスト議員連盟」のアンケート調査によると、女性議員の 52% が同僚議員や自治体職員から「セクハラを受けたことがある」と回答した。女性議員が少ない議会ほどセクハラが多い傾向があると分析している。

小学生の暴力行為 過去最多

文部科学省は、平成 26 年度「児童生徒の問題行動調査」の結果を発表した。小学生の暴力行為は前年度より 572 件多い 1 万 1468 件に上り、過去最多。特に低学年児童の暴力行為が増えている。

「練馬こども園」スタート

練馬区は、子どもの教育や保育について保護者の選択の幅が広がるよう、新たな幼保一元化施設「練馬こども園」を創設し、長時間の預かり保育などを実施する区内の私立幼稚園 13 園を認定した。預かり時間は最長 11 時間。教育や遊びについての考え方や、バスの送迎・給食の有無などは各幼稚園の方針に任されている。

改正労働者派遣法 成立

企業の派遣受け入れ期間を事実上なくす改正労働者派遣法が成立した。今まで 3 年としていた派遣労働者の受け入れ期間の上限を全業務でなくす。企業は 3 年ごとに人を入れ替え、労働組合の意見を聞けば、同じ仕事を派遣社員に任せ続けられる。また、届け出だけで派遣事業を開業できる現状を改め、すべて許可制にして国の指導・監督を強化する。ただ、今回の改正で派遣労働者の待遇改善が進むかどうか疑う声もあるという。

独身男女「子どもを希望しない」人 10% 超える

厚生労働省が平成 25 年に 21~30 歳の独身男女を対象に行った調査で、将来子どもを何人希望するか聞いたところ、「0 人」と回答した男性は 15.8%、女性は 11.6%。ともに 10% を超え 10 年前に比べ増加。子どもへの関心が低くなっていると分析している。

児童虐待 上半期過去最多

今年上半期に、警察が虐待を受けた恐れがあるとして児童相談所に通告した 18 歳未満の子ども数は、1 万 7224 人。上半期では過去最多だった。警察庁では、子どもの目の前で親が配偶者に暴力をふるう「面前 DV」が虐待との認識が浸透したためとみている。虐待のうち 64% が「死ね」などと暴言を吐かれる心理的虐待だった。

低所得世帯の子ども向けの拠点施設設立

政府は、平成 28 年 4 月にも低所得世帯の子ども向けに、家庭での生活や学習を補うための拠点施設「子供の家」(仮称)を各地に設立する。「子供の家」は放課後に低所得世帯の小中学生を預かり、問題を抱える場合は幼児や高校生も受け入れる。不登校児童は午前中から、保護者が夜間留守にする場合は夜間も受け入れる予定。

男性の育休促進へ

政府は男性の育休取得促進の新たな仕組みとして、男性従業員の育休を奨励する企業への助成金を新設。過去 3 年間に男性の育休取得者がいない企業が対象。男性の育休取得は 2.3% にとどまっている。

高齢者が暮らしやすい国 日本 8 位

高齢者の生活環境を調査する国際団体ヘルプエイジ・インターナショナルによると、日本は平成 27 年の高齢者の暮らしやすい国の順位が 8 位となった。寿命の長さや健康状態などの評価が高かった。総合 1 位はスイス、欧州諸国が上位を占め米国は 9 位、中国は 52 位、韓国は 60 位、最下位はアフガニスタン。

